



学校だより 【第4号】

令和8年6月30日(火)
石巻市立石巻小学校

子供と教師がともに学び、高め合う学校を目指して

今日で6月が終わり、暦は7月へと移り変わり、いよいよ本格的な夏がやってきます。7月といえば、真っ先に思い浮かぶのが七夕です。七夕にそれぞれのかなえたい願い事を伝え合う姿は、この時期ならではの微笑ましい風物詩です。また、私たち大人もなつてほしい子供の姿を思い、そのことを伝えられる機会になると考えます。

さて、子供たちの学校での様子はというと「挑む」という言葉がふさわしいように思います。この場を借りて紹介いたします。

ースポーツテストー

全校でスポーツテストを実施しました。シャトルランや50メートル走、ソフトボール投げなど、それぞれの種目で子供たちは「昨年の自分を超越する」「自分の目標を達成する」という強い意志を持って挑戦していました。きつくても途中で諦めず、最後の力を振り絞って走り抜ける姿。そして、競技を終えた後に見せた、汗だくになりながら「やり切った」という充実感に満ちた表情。その清々しい顔立ちに、子供たちの確かな成長を感じ拍手を送りたくなります。結果が届きましたら、その頑張りを称えてあげてください。

ー水しぶきと「歓声」が響くプール開きー

水泳学習もスタートしました。まず5・6年生が一生懸命きれいに掃除をしてくれたことに感謝しています。途中、様子を見に行きましたが、話し掛けることをためらうほど真剣に取り組んでいました。天気と相談しながらプールに入っていますが、歓声がプールいっぱいに響き渡っていました。少しでも長く泳げるよう、また水と親しめるよう丁寧な指導を続けてまいります。



ー避難訓練ー

引渡し訓練では、お忙しいところ御協力いただきありがとうございました。安全対策には様々な想定が不可欠になります。その中の一つとして学校での引渡しとなりました。では子供たちはどうかというと、地震、土砂災害想定の実演時には子供たちの「心のスイッチ」が切り替わる瞬間がありました。いざ訓練の放送が入ると、先ほどまでの明るい表情が一変しました。誰一人としておしゃべりをせず、先生の指示をよく聞き、真剣な表情で机の下に身を隠し、その後は速やかに避難行動を実践しました「もしも」に備えて自分の命、そして周りの命を守るためにどう動くべきかという強い意識が育っていることが伝わってきました。



ー学び合いー

子供たちが「できた」「分かった」という声とともに自分から調べたり、発表したりする機会が増えてきています。このことを受け私たち教職員もまた、学び続ける存在でありたいと考えています。学校とは、このように子供と教師が互いに刺激し合い、ともに高め合う関係であるべきだと考えています。放課後に教員同士が指導法の改善に向けて熱心に議論を交わしています。子供たちが目を輝かせて学ぶ姿を何よりの喜びとしています。夏休みまで、しっかり取り組んでまいります。